バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023　大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙　流通記者会加盟紙

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL：https://okashi.info　e-mail：ks-news@okashi.info

令和6年　3月12日（火曜日）
（毎月12、22日発行）第2314号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可

発行所　〒564-0053 大阪府吹田市江の木町11-38-618
TEL 06(6385)1717 FAX06(6385)0150
株式会社 菓業食品新聞社
支社・京都
発行人　狩野　智子　　一カ年　8,800円

全菓連青年部

第1回経営勉強会

講師に全菓連 長沼理事長

「勢いと情熱」テーマに講演

全国菓子工業組合連合会青年部（竹本洋平部長）は、2月19日（月）午後3時から第1回経営勉強会をZoomを使用し、オンラインで開催した。

1部講演、2部グループディスカッションの2部構成で、1部は全菓連長沼昭夫理事長が「勢いと情熱」をテーマに講演し、約50人が参加した。

竹本部長が「初めての勉強会なので、全菓連ビルに各ブロック長が集まり、長沼理事長にも来ていただいた。包み隠さず話し合い、経営を学べるよい機会になればよい」と挨拶し、講演となった。

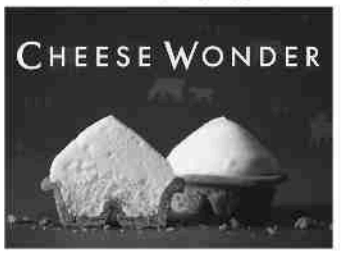
昨年6月に全菓連理事長に就任した長沼氏は、札幌市の洋菓子店「きのとや」の創業者。来年開催の第28回全国菓子大博覧会・北海道の大会長も務め、菓子業界を牽引する存在である。

長沼理事長は、自己紹介から始めた。41年前に35歳で生・洋菓子販売のきのとやを創業。最初は菓子を仕入れていたが、パティシエを雇い、納得できるものを販売し、業績を拡大していく。現在は、㈱きのとやのほか、製造開発のKコンフェクト㈱、SNOWSなどのブランドを展開する㈱COC（子息の長沼真太郎社長が運営）、M&Aをした創業102年の老舗和菓子店の千秋庵製菓㈱、農業法人の㈱ユートピアアグリカルチャー等を展開し、グループ全体の会長を務めている。

上から、挨拶する竹本部長、講演する長沼理事長

すべての責任は社長にある

ユートピアアグリカルチャーでは、80頭の牛を放牧、6000羽の鶏を平飼いで飼育。その牛乳と卵を使ったチーズケーキ「チーズワンダー」は、オンラインのみで週2回販売し、3分で売り切れるほどの人気。1週間で1500箱ほど作る。SNOWSでも放牧牛乳を使い、牛乳濃度の濃い時期の冬季しか販売しないコンセプトで、生チョコレートサンドクッキー等を製造し、人気ブランドとなっている。



人気のチーズワンダー

①菓子屋人生の勝負時

想定外の事態として、食中毒事故を話した。

25年前、1店舗で11億円もの売上があり、いい気になっていたかもしれない。食中毒被害者は200人近くになり、新聞、テレビの全国放送で報道があり、営業停止になった。信用を失い、PL保険に未加入で、廃業してもおかしくない状況となった。「すべての責任は社長にある」として、全社員に対し謝った。被害者へのお詫びには、一人で100軒全てを訪問した。被害を受けた人は、責任者に謝ってほしいものだ。前日にうちのケーキを食べたせいで、全国大会に出場できなかった高校生もいた。取り返しのつかないことをしており、誠心誠意謝罪した。お客様を信用しようと思ったので、提示された休業補償、慰謝料等の金額は高額でも全てそのまま受け入れ、1カ月で全て解決できた。新しい店を開けたときに、オープンを待つお客様の列をみて、涙が出る思いだった。お客様、従業員に対する感謝の気持ちをもった。

社是は伊那食品工業㈱と同じ「いい会社を作りましょう」。何のために経営しているのかと問われたら、それは全社員のとその家族の幸せの実現だ。1人でも雇用したら彼らの幸せを考えるべき。残業手当を払ったら会社が潰れる、そんな話が通る時代ではない。

②青年部の価値向上

経営の勉強会を続けていくとよい。できれば各県単位で、少ない人数でも本音で話をする。楽しそうに取り組めば、一人ひとりと増えていく。

③後継者育成

菓子屋は素晴らしい仕事だ。私は菓子屋のお客さんはみな幸せそうな顔をしていると言われ、菓子屋を志した。阪神淡路大震災の時、西宮市のツマガリさんは、早く菓子を作って配りたいとおっしゃっていた。仕事に誇りを持てば、後継者はいるものだ。外国人雇用などの雇用や生産の形、オンライン販売など売り方の変化にも対応が必要だが、お菓子屋自体は決してなくならない。

第2部は、5、6人のグループに分かれ意見交換をし、新商品の生み出し方、雇用、店舗展開など経営に関わる悩みを話し合った。最後に長沼理事長への質疑の時間をもった。

・千秋庵について

後継者がいないということで引き継いだ。社長以外全員の雇用はそのまま維持した。店舗を3分の1に減らしたが、新商品もうまくいき、売上は3倍になった。

・ネットでのPR方法

ネットでは情報がすぐ埋もれる。先行販売等で、話題づくりや商品にストーリーが必要だ。また、商品は味60%、お店の雰囲気30%、宣伝10%。お菓子は繰り返し買ってもらうもの。なによりも美味しさが大事だ。

竹本部長は「長沼理事長から、多くの気付きと勇気をいただける話を伺った。次回は6月に予定している。多くの参加を望みたい」と話した。

2面 2024中部パック発表会
4面 味覚糖山田商空 社葬
7面 京・製菓原料組合50周年